

## 水害対策活動要領

### ■柳瀬川の氾濫指標

埼玉県の川越県土整備事務所清柳橋観測所（埼玉県所沢市坂の下265）の荒川水系柳瀬川の水位基準による

平常時の水位	: 16.8m
水防団待機水位	: 19.15m
<b>はん濫注意水位</b>	<b>: 19.65m</b>
避難判断水位	: 20.53m
はん濫危険水位	: 20.87m

### ■清柳橋の最高水位と志木ニュータウンへの影響（2016年8月22日の記録）

- ☛台風9号直撃時の13時に、19.62mに達し「はん濫注意水位」に肉薄した。
- ☛この時点で、志木大橋と東武東上線鉄橋間の柳瀬川の水位は、河川敷への階段の堤頂まで残り3段くらいまでに達した。
- ☛河川敷は完全に水没した。
- ☛柳瀬川の水位は、東武東上線鉄橋橋梁下端まで約1.4mに達した。
- ☛13時30分：志木市は土砂災害の危険性が高まっているとして、柏町1丁目と2丁目を対象に避難勧告を出した。
- ☛志木ニュータウンは陸の孤島になった。  
柏町ポンプ場からユリノキ通りが冠水、ユリノキ通りは通行止め、セイムス周辺の暗渠からマロニエ通り付近の東の森貳番街が冠水するに至った。国道463号線（浦所バイパス）の山田うどん付近の交差点が冠水し、四車線とも通行できなくなり、迂回する車両の影響が志木ニュータウン側の市道柳瀬川通りにも及び、中央の森貳番街と中央の森参番街の北側の同通りは、長い車列の渋滞が発生した。



### ■台風接近時の前日の対策

- ☛防災専門委員が連絡を取り合い、高層棟（6・7号棟）駐輪場入り口の止水板の設置可否を決定して実行する。
- ☛止水板には、「台風接近により柳瀬川氾濫の危険があるため、止水板を設置しています。」との掲示（パウチにより防水したもの）をする。
- ☛清柳橋観測所の水位が平常時水位16.8mに下がった時点で、止水板を解除する。

以上

作成年月日：2017年4月9日